

みずほCustomer Desk Report 2019/09/25 号(As of 2019/09/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.69
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	107.60	1.0994	118.31	1.2436	0.6773
SYD-NY High	107.80	1.1024	118.56	1.2504	0.6806
SYD-NY Low	106.96	1.0984	117.90	1.2416	0.6766
NY 5:00 PM	107.09	1.1021	117.98	1.2496	0.6799
NY DOW	26,807.77	▲ 142.22	日本2年債	-0.3200	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,993.63	▲ 118.84	日本10年債	-0.2400	▲ 2.00bp
S&P	2,966.60	▲ 25.18	米国2年債	1.6257	▲ 5.56bp
日経平均	22,098.84	19.75	米国5年債	1.5281	▲ 7.06bp
TOPIX	1,622.94	6.71	米国10年債	1.6507	▲ 7.17bp
シカゴ日経先物	21,730	▲ 80	独10年債	-0.6015	▲ 1.70bp
ロンドンFT	7,291.43	▲ 34.65	英10年債	0.5265	▲ 2.05bp
DAX	12,307.15	▲ 35.18	豪10年債	0.9780	▲ 0.30bp
ハンセン指数	26,281.00	58.60	USDJPY 1M Vol	6.55	0.40%
上海総合	2,985.34	8.26	USDJPY 3M Vol	6.70	0.25%
NY金	1,540.20	8.70	USDJPY 6M Vol	6.83	0.23%
WTI	57.29	▲ 1.35	USDJPY 1M 25RR	-1.63	Yen Call Over
CRB指数	177.19	▲ 1.47	EURJPY 3M Vol	7.10	▲ 0.05%
ドルインデックス	98.34	▲ 0.26	EURJPY 6M Vol	7.23	0.05%

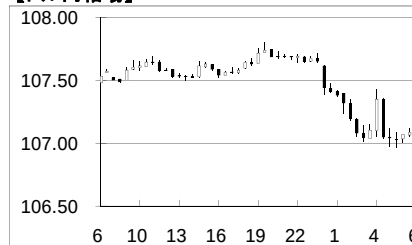
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月24日	14:30	日 黒田日銀総裁講演	「現時点でマイナス金利政策の強化を排除する必要はない」	
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	9月 94.6/90.8/98.5	94.5/92.0/96.9
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	9月 125.1	133.0

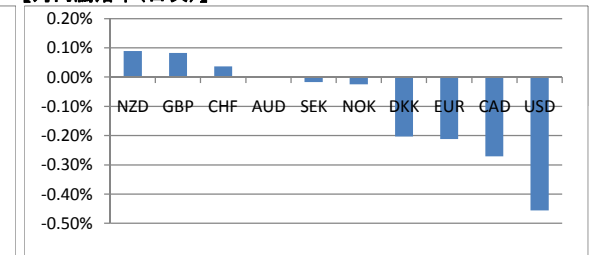
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月25日	21:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演		
	23:00	米 新築住宅販売件数	8月 658k	635k
	23:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演		
	23:00	米 プレイナードFRB理事 講演		
9月26日	08:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.60-107.50	1.0950-1.1100	116.70-119.30

【マーケットインプレッション】

前日のドル円相場は海外時間にかけて軟調推移する展開。アジア時間には中国の米国産大豆輸入で制裁関税免除との報道を受けドル円は上昇する場面が見られた。海外時間には、米消費者信頼感指数が米中貿易摩擦問題により景気見通しが悪化したことを受け、3ヶ月ぶりの低水準となったことでドル円は下落。米下院にてトランプ大統領の正式な弾劾尋問を開始するとの発表があったこともドル売り材料となった。また、トランプ大統領が国連での演説で米中貿易協議での望ましくない合意は容認できないとの考えを示したことで、10月の米中協議の楽観的な見通しが後退した。海外時間に米国債利回りが低下し、ドル円も軟調推移する展開となった。

本日のドル円相場の見通しは上値の重い展開を予想。トランプ大統領の弾劾の可能性の高まりや米中貿易協議の不透明感を受け一方的にドルが買われる展開にはなりづらいだろう。

アジア	東京時間のドル円は107.60レベルでオープン。公示仲値決定の時間にかけてドル買いが強まったことや、日経平均株価の底堅い推移を背景にドル円は一時107.69まで上昇。買い一巡後は107.50まで下落し、107.54レベルで海外時間に渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.54レベルでオープン、日米通商協議遅延への警戒感からドル円は上値重く推移。黒田総裁記者会見にて追加緩和に前向きとのスタンスが変わっていないことが示されたことや、英最高裁が議会閉会を違法と判断したこと等を受けポンド円等が上昇して反応しドル円は107.80まで上昇。その後、107.68レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2433レベルでオープン。英最高裁の議会閉会に係る判決を前に上値重く推移するも、最高裁の違法判決直後にポンドは1.2491まで買われ1.2475レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	中国が米国産大豆の輸入関税を掛けないとのヘッドラインが伝わったことや、黒田日銀総裁が追加緩和に対して前向きな発言をしたことに加え、英最高裁がジョンソン首相による議会閉会を違法との判断を下したことからポンド円が上昇する動きに、ドル円は107.80まで戻し、107.68レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫らく続くが、米9月消費者信頼感指数が発表され期待(95.8/前回106.4)が大きく低下したこと等から予想を下回り、107.38まで下落する。その後は株式市場が軟調に推移し、ドル売りも強まる展開に、ドル円はじりじりと上値を切り下げ、107.01まで下落する。午後はトランプ大統領が先日認めたカウライ大統領と電話でバイデン元副大統領について会話をした内容を発表すると伝わり、弾劾裁判に対する懸念が一旦後退し、ドル円は107.42まで戻すが、シュマー院内総務が、「電話の会話の内容そのものは十分ではない」と話す一方、ペロシ下院議長が本日5時に正式な弾劾請求を発表すると報じられたことからドル売り、円買いが強まり、ドル円は106.96まで下落し、107.09レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは1.0990付近でのレンジでの推移が続き、1.1002レベルでNYオープン。朝方は米消費者信頼感指数の結果を受けたドル売りに、1.1015まで戻す。午後に入りトランプ大統領が電話会話の内容を開示すると話したことから一旦ドル買いが強まり1.0998まで反落するが、弾劾請求が夕方発表されることが明らかになるとドル売りが優勢となり、ユーロドルは1.1024まで戻し、1.1021レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:高根・綱島